

都市再生推進法人 築切家守舎について

1. 法人設立の目的について

福山の駅前のはかつての賑わいは無く、随分と衰退してしまいましたが、2018年、福山市は中心市街地を活性化させるべく「福山駅前再生ビジョン」なるものを策定しました。その中で、まちづくりにおける『官』と『民』の役割の明確化、また伏見町は「リノベーションのまちづくり」により賑わいを創出することが謳われました。わたしたちは、民の役割を果たすために、不動産オーナーと事業オーナーを結びつけるため、この「築切家守舎」を設立しました。そして、リノベーションのまちづくり、まちやど事業をスタートさせました。この事業が進んでいくことにより、伏見町に再び賑わいを取り戻し、それが駅前の活性化につながり、ひいては福山のまち全体の活性化につながっていく。そうなることを確信しながら、活動を続けています。

2. これまで取り組んだ事業について

①土屋ビルリノベーション事業 2018年12月竣工

空き家であった土屋ビルを所有者から借り受け、1階2階を焼肉店舗に貸し出し、また、3階～5階は宿泊できる部屋としてリノベーションを行い、まちやど事業を行っている株式会社フューレックに提供した。

②旧橋高ビルリノベーション事業 2019年8月竣工

空き家であった旧橋高ビルを、所有者からリノベーションに理解のある不動産会社（株式会社都市環境研究所）に購入して頂き、1階部分を大規模に改築。

「Watering Hole」（お酒・ソフトドリンクを出すまちの社交場）として、4～5店舗程度の出店を募り、土屋ビルリノベーション事業と連動した伏見町のアンカーポイントとして、街の賑わいを演出した。

現在では、地ビールの店、惣菜店、カフェテリアが出店し、街の賑わいの一助となっている。

③伏見ビルにおける事業連携支援 2019年12月竣工

2階～4階が空室であった伏見ビルの当該土地を独立行政法人UR都市再生機構に取得していただき、当該建物をまちやど事業を行っている株式会社フューレックに取得していただくことで2社による事業連携の橋渡し役を担った。

④旧中国バスビルにおけるリノベーション事業の支援 2019年6月竣工

9階の内6階部分が空室であった旧中国バスビルを所有者から不動産会社（株式会社都市環境研究所）に購入して頂き、大規模なリノベーションを行うと共にテナントの入替を支援した。

⑤エフピコ RIM 撤退予定テナントに対する説明会の開催

日 時：令和元年11月18日（月）20：30～21：30

場 所：AREA IN FUSHIMICHO

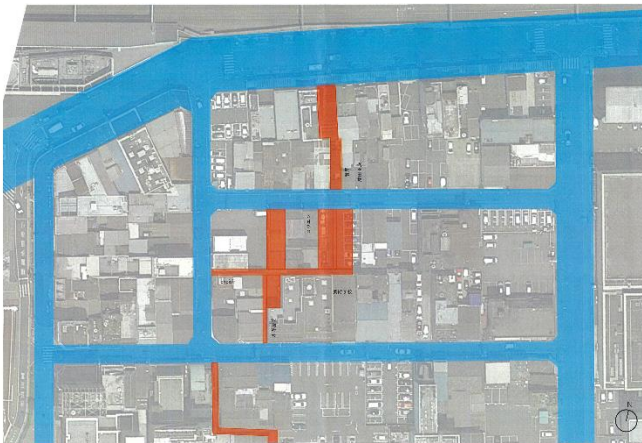
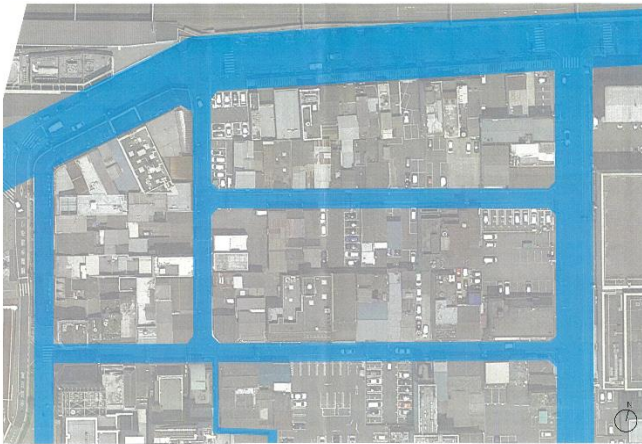
参加者：9名（MILIMILI、ROSE CARAVAN、キロストア、HONEYYS、GRAM、3びきの子ねこ他）

3. 今後取り組む予定の事業について

本年1月20日に「都市再生推進法人」に指定されました。今後は市と連携しながら、民間ならではの創意工夫でまちづくりを進めてゆきます。

最初に手掛けたいのは、伏見町にある市が管理する今はほとんど注目されていない路地を整備し、路地裏ならではの魅力を創り出す事業を行います。本年度内に着工し来年度早々の完成を目指したいと思います。

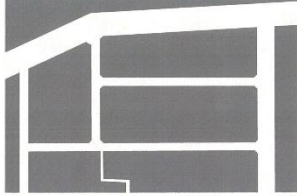
（仮称）伏見町フットパス事業



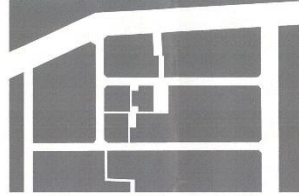
路地が醸し出す"伏見町らしさ"を再評価し、アップデートする。

いちばん伏見町らしい場所になる。

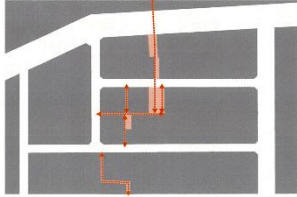
① 伏見町にスキマを作る (認識する)



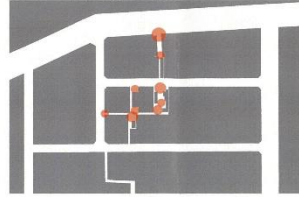
② 伏見町にスキマを作る (認識する)



③ スキマをつなげて伏見町を円通する"路地"をつくる



④ 路地沿いに建築と一体化した"たまり"をつくる



⑤ 近隣の店舗との相乗効果を狙う

